

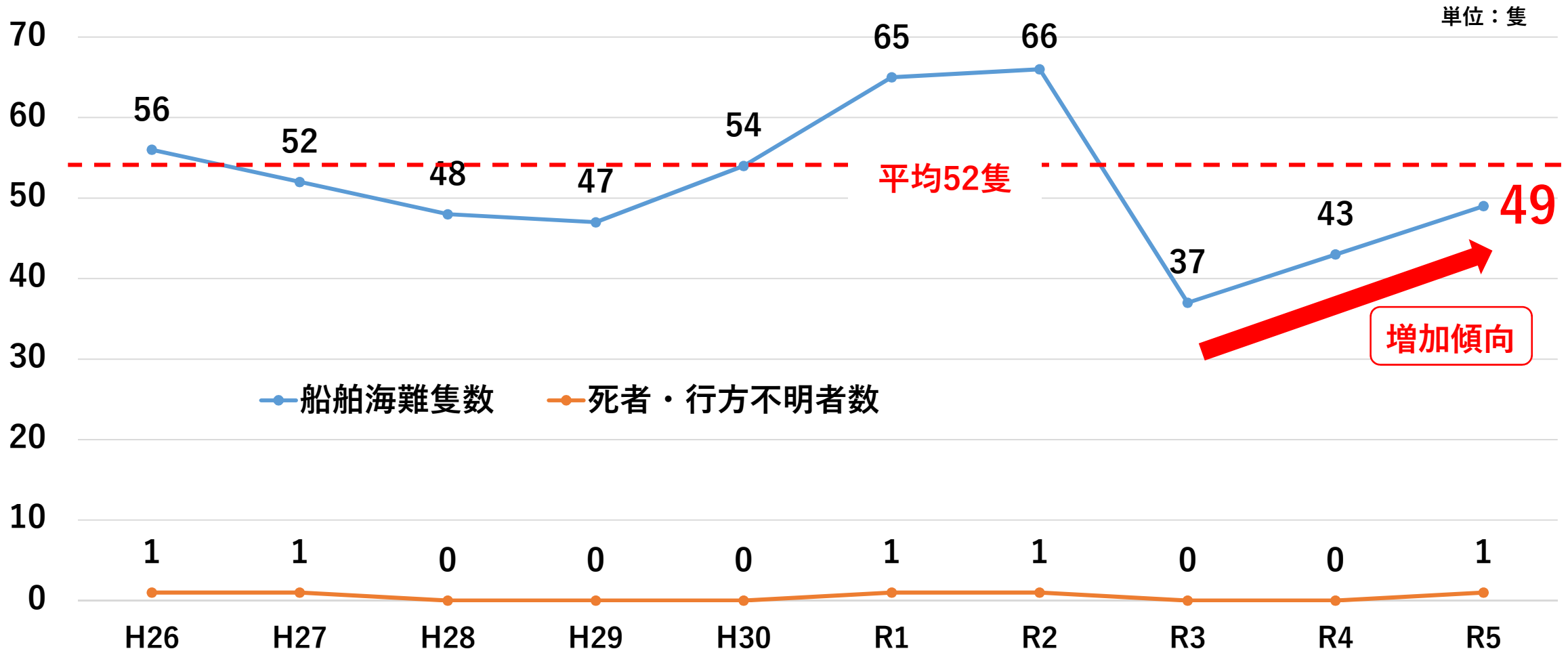
令和5年 熊本海上保安部管内※ 船舶海難発生状況

※八代海上保安署、天草海上保安署管内も含む

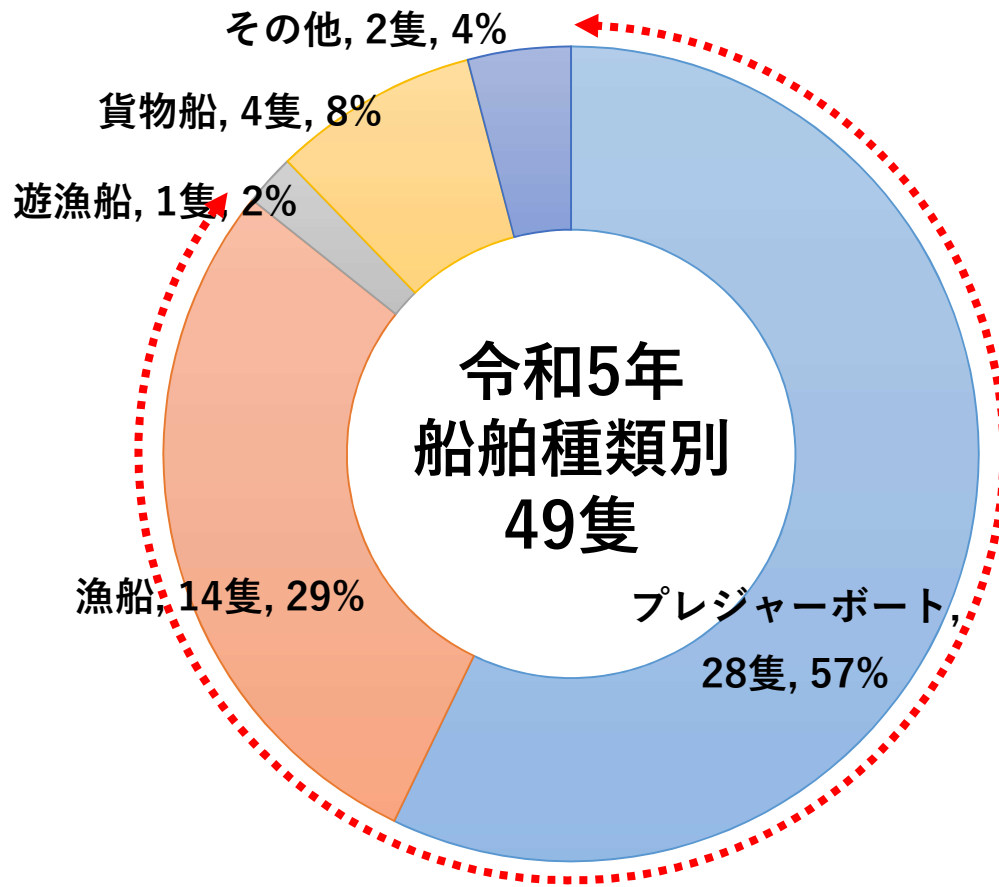
令和6年3月26日 熊本海上保安部交通課



H26-R5船舶海難隻数の推移

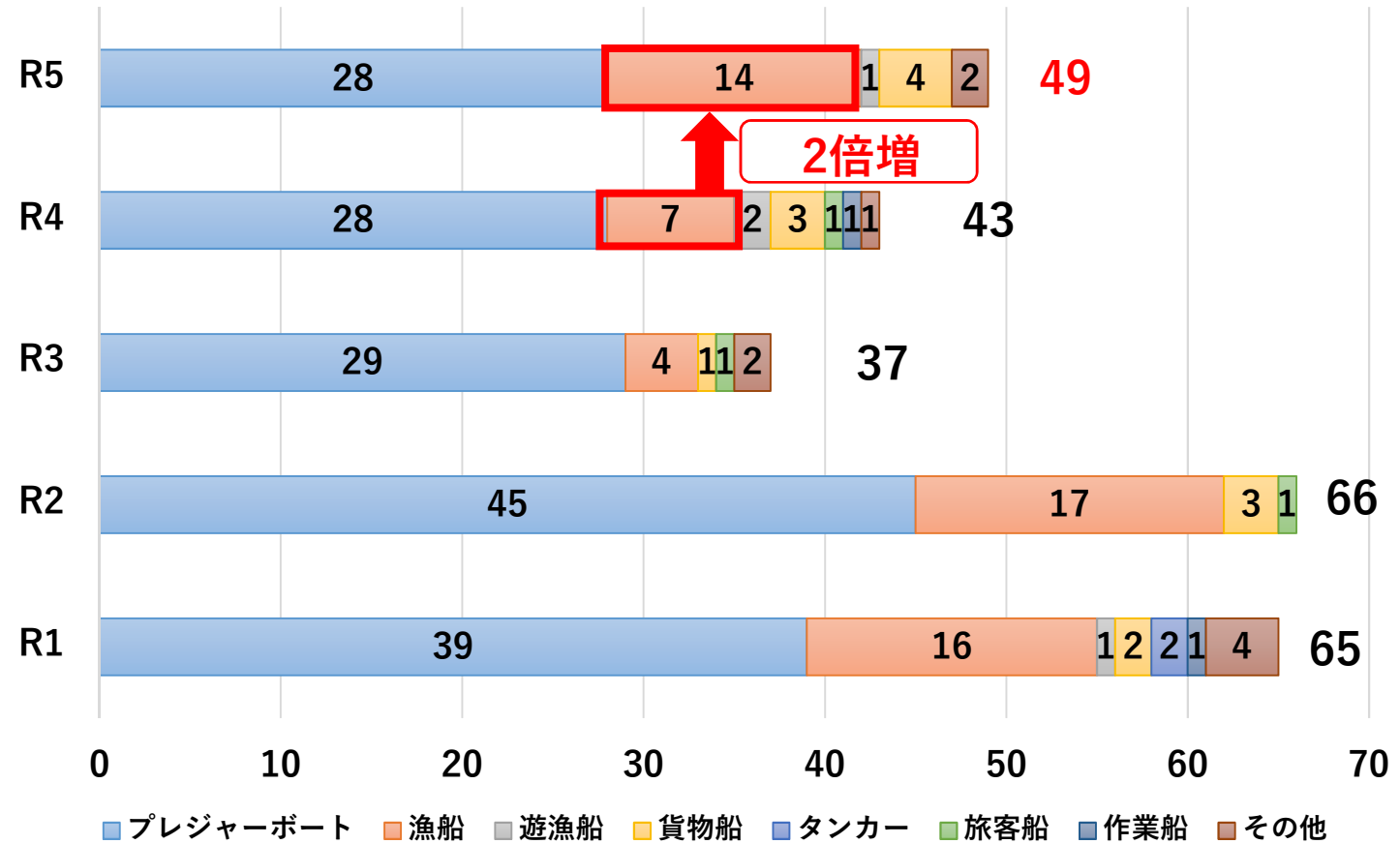


- 令和5年の海難隻数は49隻（前年比6隻増加）。過去10年の平均隻数を下回っているものの、令和4年から引き続き増加傾向。
- 令和5年の船舶海難による死者・行方不明者は1名。



【船舶種類別】 R1-R5海難隻数の推移

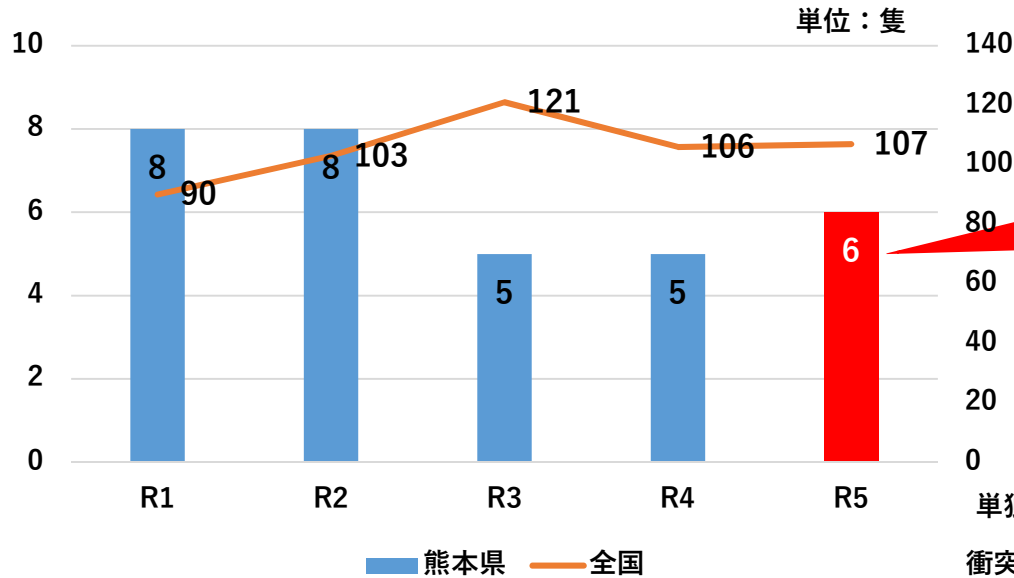
単位：隻



➤ 令和5年の船舶種類別の海難隻数は、プレジャーボートによる海難が全体の約**6割（28隻）**を占め、次いで漁船が多く、プレジャーボートと漁船の海難が**全体の約9割（42隻）**を占める。

➤ 令和5年は、**漁船の海難が14隻発生（前年比7隻増）**

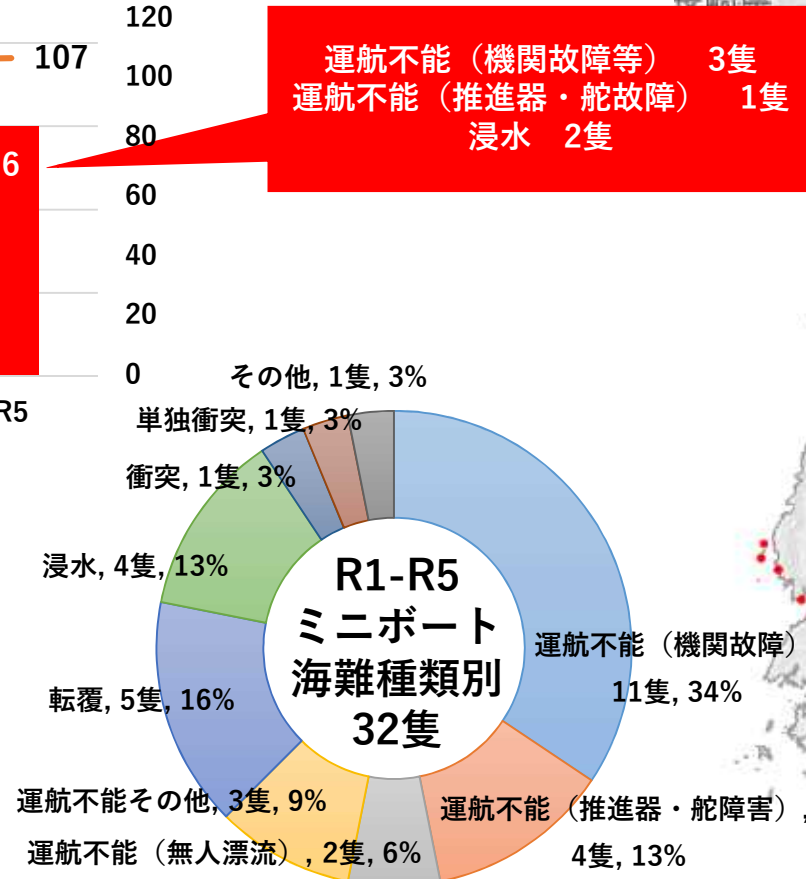
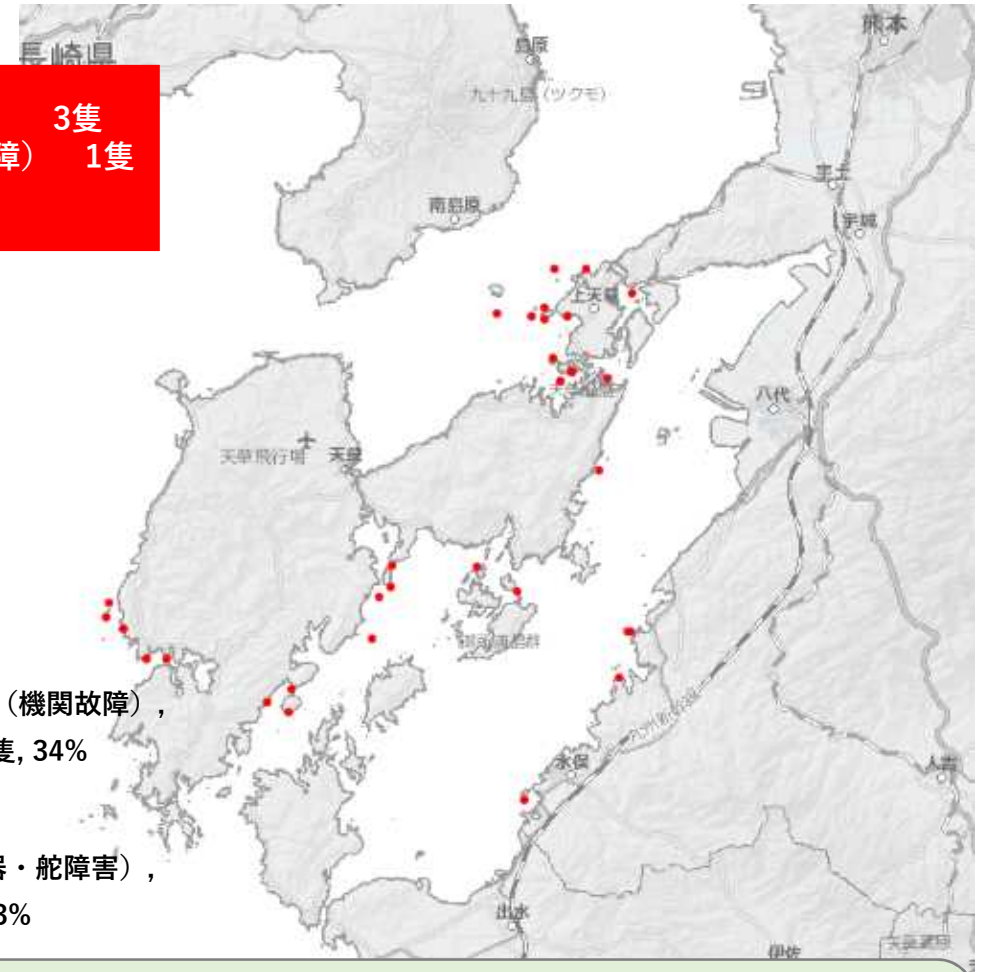
R1-R5ミニポートによる海難隻数の推移



保安部管内別ミニポート事故隻数

- H30 :全国ワースト1位
- R1・R2 :全国ワースト2位
- R3 :全国ワースト3位
- R4 :全国ワースト2位
- R5 :全国ワースト3位

R1-R5ミニポート海難発生海域



運航不能 (機関故障等) 3隻
 運航不能 (推進器・舵故障) 1隻
 浸水 2隻

➤ **令和5年のミニポートによる海難隻数は6隻発生 (前年比1隻増加)**

* ミニポート…船の長さが3m未満で、かつ、船外機のエンジンや電動機 (モーター) の出力が1.5kW (2.039馬力) 未満の船舶をいい、小型船舶操縦士免許・法令に基づく船舶検査が不要な小型ポートです。

事故事例① ミニボートが浸水後、転覆

- 事故者 : 船長 30代男性, 同乗者 30代男性 計2名
- 発生日時: 令和5年11月11日午前8時頃
- 事故概要: 事故者2名は、釣りをするためミニボートに乗り込み、午前7時頃、上天草市所在の牟田漁港を出港。牟田漁港の沖合で、釣りをしていたところ、ミニボート内に波が入り込み、その際に、同乗者がバランスを崩し、そのまま転覆した。転覆後、船長自ら118番通報し、その後、ミニボートにしがみついている状態で流されているところを、無事に救助された。2名とも低体温症の疑いで病院に搬送されましたが、命に別状なし。



➤ 事故防止のポイント

① 事故当時、強風注意報が発令されており、現場海域では風速約7 m/sの風が吹いていました。

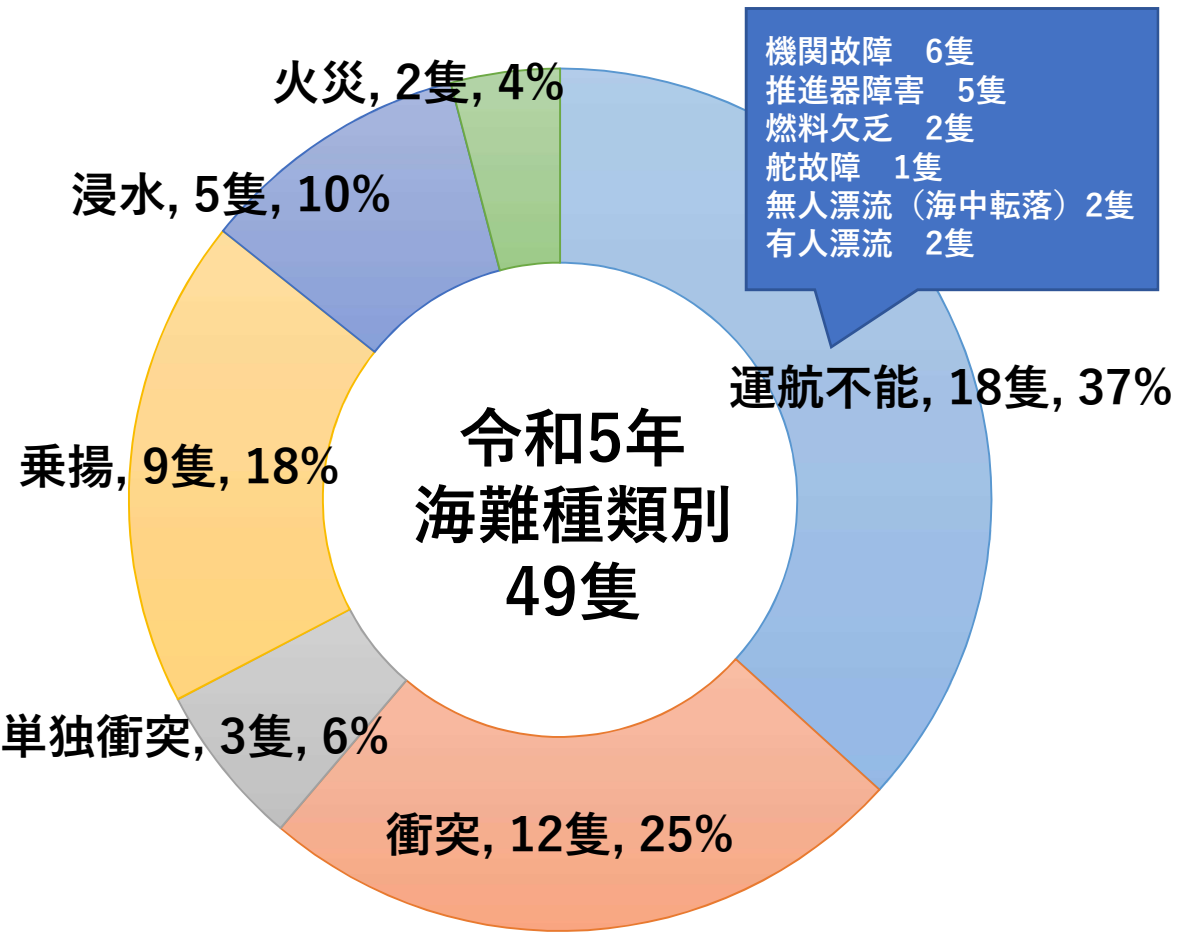
➔ **ミニボートは風潮流の影響を受けやすいため、風が強い時、波が高い時は出港を取りやめましょう！**

② 事故者2名は救命胴衣を着用しており、携帯電話を防水パックに入れていました。

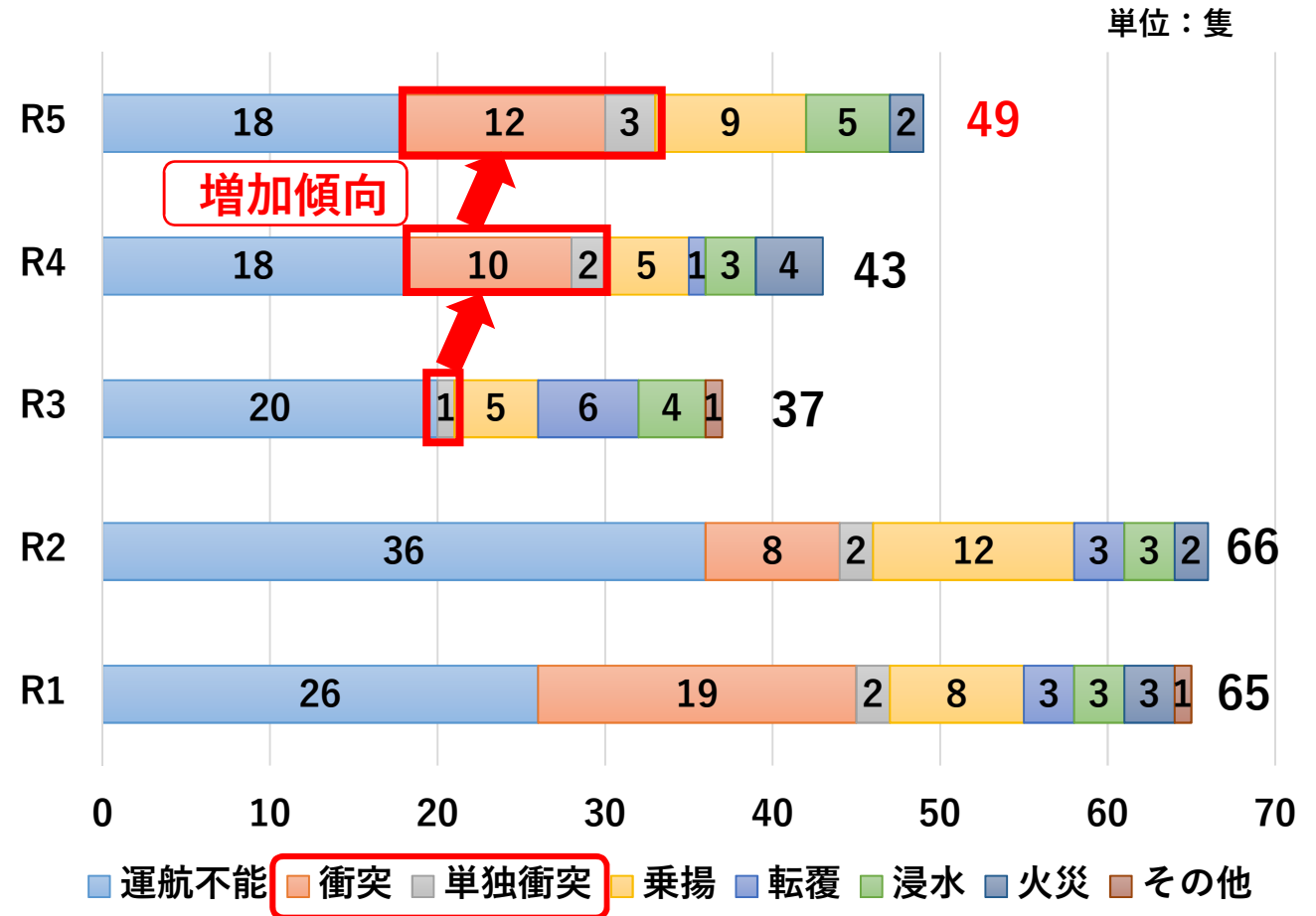
➔ **出港時は、「救命胴衣の着用」「連絡手段の確保」を確実に実施しましょう！**



ミニボートは、免許・船舶検査が不要なことや、持ち運びが容易なことから、初めて購入するボートとして選ばれることがありますが、ミニボートの特性を理解し、海の基礎知識や必要な装備品を確認して楽しく安全に遊ばしましょう。



【船舶種類別】R1-R5海難隻数の推移



- 令和5年の海難種類別の海難隻数は、航行不能が全体の約4割（18隻）を占め、次いで衝突、乗揚げとなった。
- 例年、大半を占める航行不能は、令和3年から引き続き減少傾向。
- 衝突（単独衝突を含む）が令和4年に引き続き増加傾向。
- 乗揚げは、令和4年から4隻増加。

令和5年に発生した衝突（単独衝突を含む）海難一覧

	発生日	場所	船種	概要
①	2月17日	天草市上の島東方沖	漁船（2名乗船）	あおさ養殖場での摘み取り作業中、杭に衝突
②	3月11日	八代港内	貨物船（293トン）	貨物船（2995トン）が出港しようとしたところ、係留中の貨物船（293トン）に接触
③			貨物船（2995トン）	
④	4月2日	天草市宮田漁港沖	漁船（1名乗船）	錨泊遊漁中のプレジャーボートと漁船が衝突
⑤			プレジャーボート（1名乗船）	
⑥	5月22日	御所浦町嵐口港沖	漁船（1名乗船）	航行中の漁船同士が衝突
⑦			漁船（1名乗船）	
⑧	6月11日	上天草市西大維橋	プレジャーボート（1名乗船）	橋下を航過した際、スパンカー支柱の先端が、橋桁に接触
⑨	8月11日	上天草市維和島南西沖	プレジャーボート（8名乗船）	航行中のプレジャーボート同士が衝突
⑩			プレジャーボート（1人乗船）	
⑪	9月13日	天草市大浦港沖	遊漁船（2名乗船）	航行中の遊漁船と漁船が衝突
⑫			漁船（2名乗船）	
⑬	11月5日	鹿児島県長島町蔵之元港沖	漁船（1名乗船）	帰港中の漁船と漂泊操業中の漁船が衝突
⑭			漁船（1名乗船）	
⑮	11月29日	本渡港	その他（作業台船）	本渡瀬戸航路を航行中、作業台船のスパッドが架空線に接触、切断。



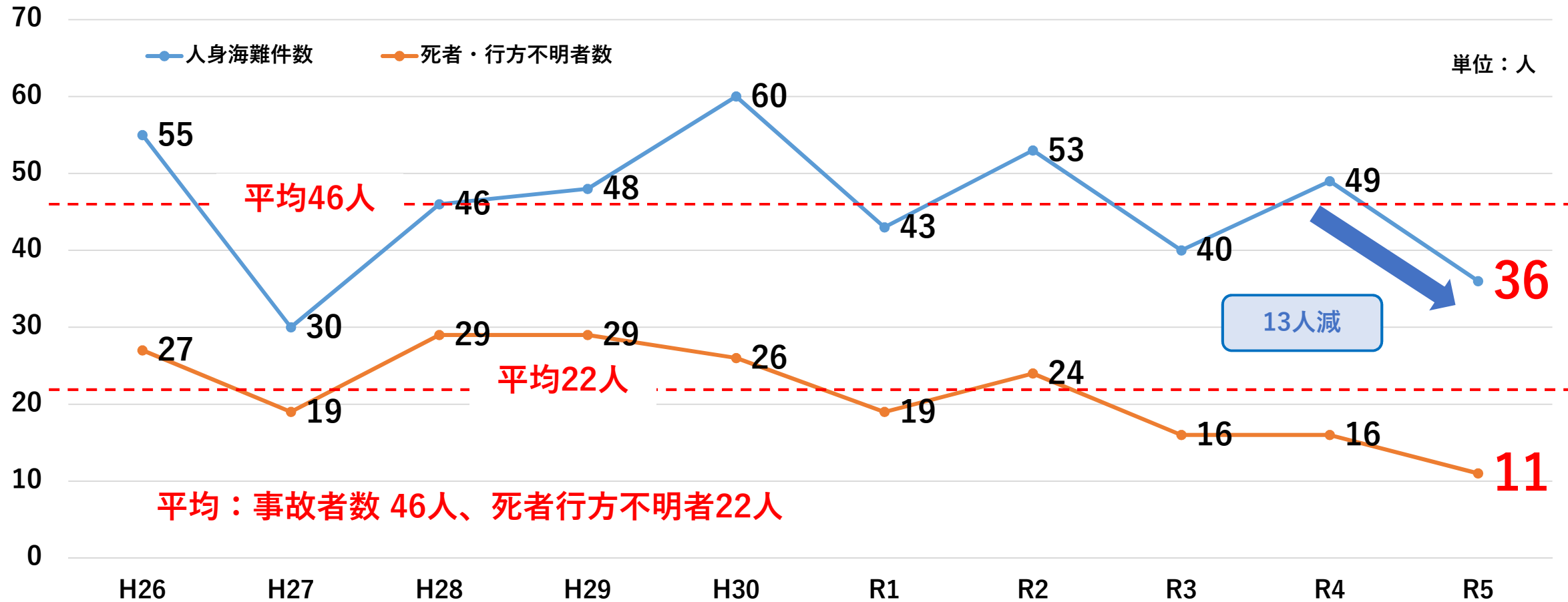
令和5年 熊本海上保安部管内※ 人身海難発生状況

※八代海上保安署、天草海上保安署管内も含む

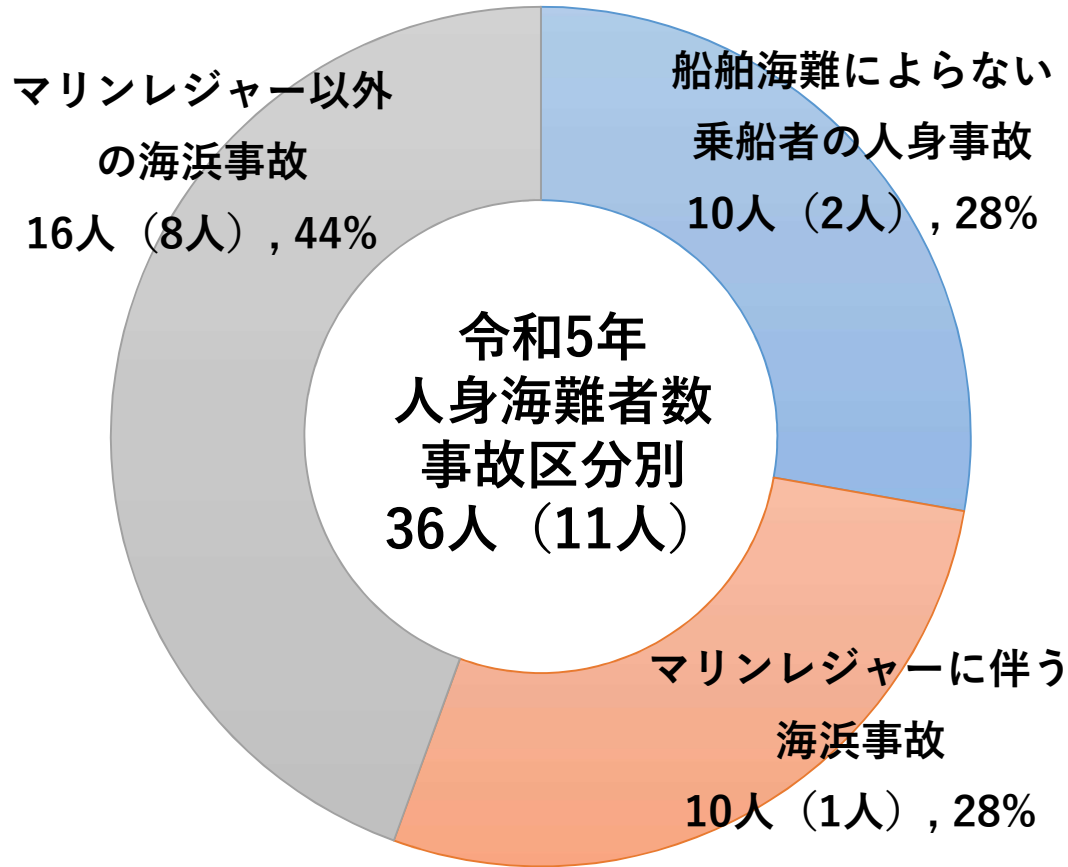
令和6年3月26日 熊本海上保安部交通課



H26-R5人身海難の推移

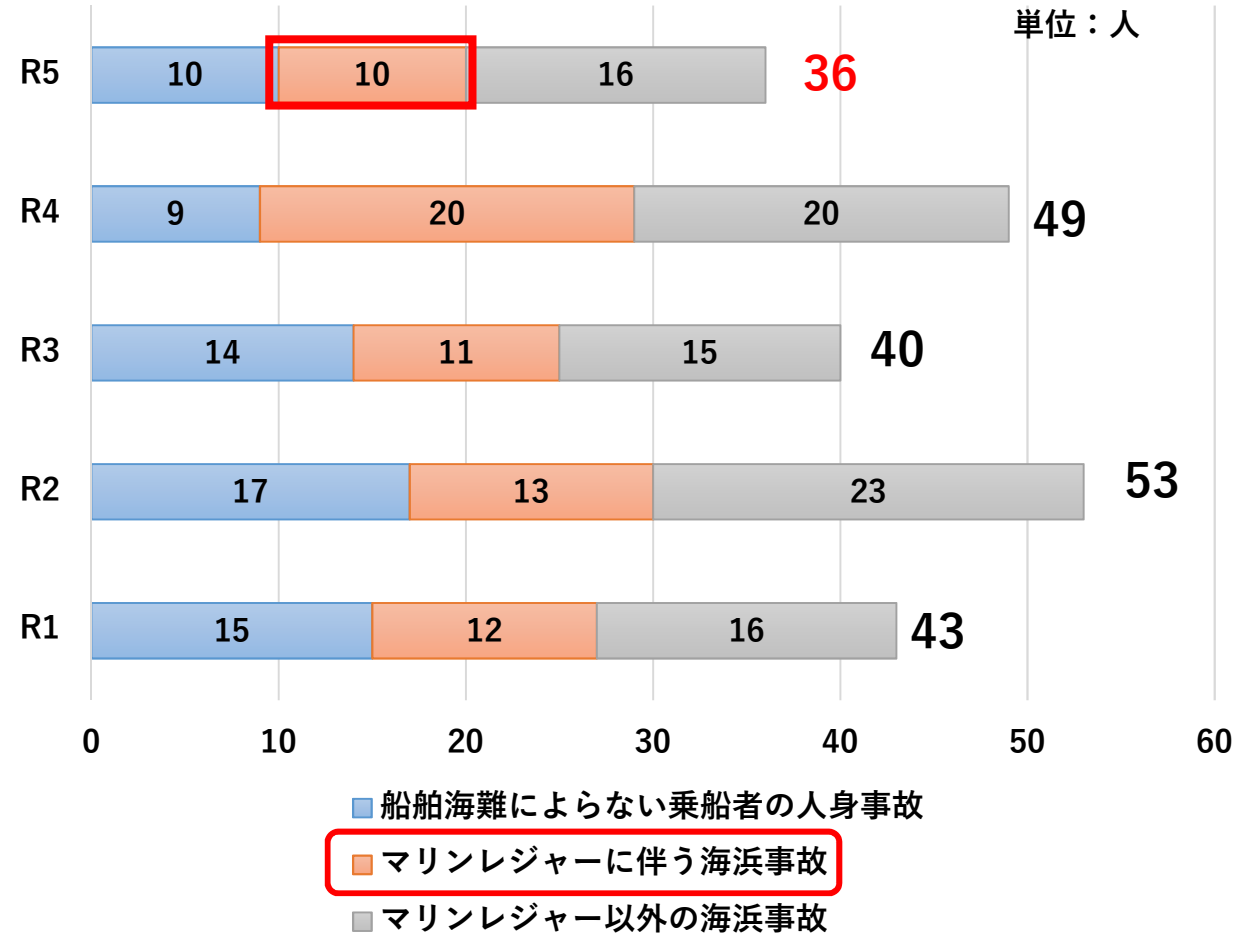


- 令和5年の事故者数は36人（前年比13人減）
- 令和5年の人身海難による死者・行方不明者数は11人（前年比5人減）



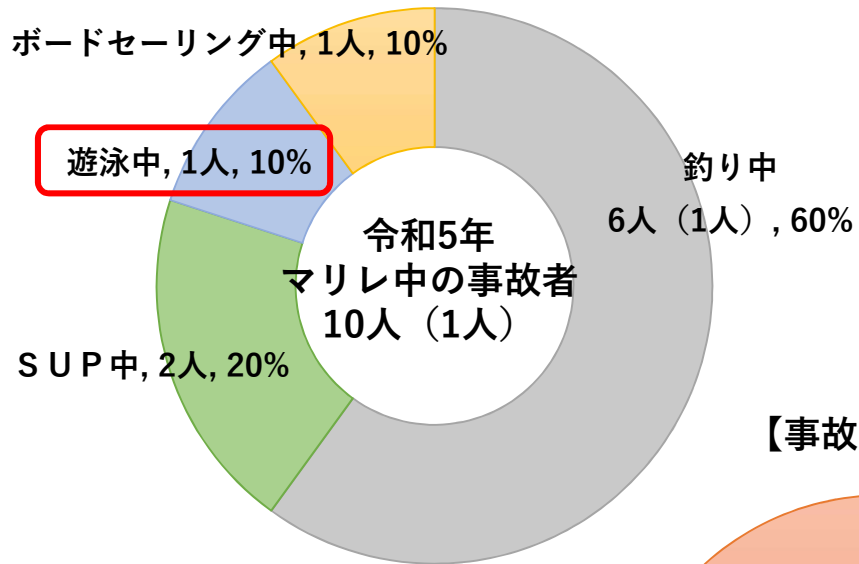
※ () 内は、死者行方不明者数

【人身事故区分別】 R1-R5人身海難発生状況

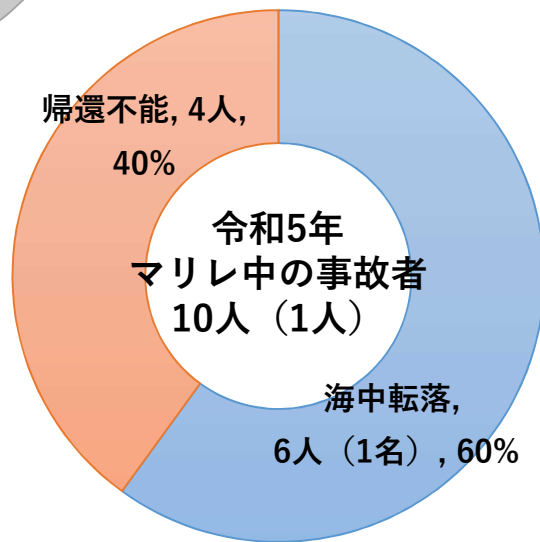


➤ 令和5年はマリレに伴う事故が10人と過去5年で最少（前年比10人減）

【活動内容別】

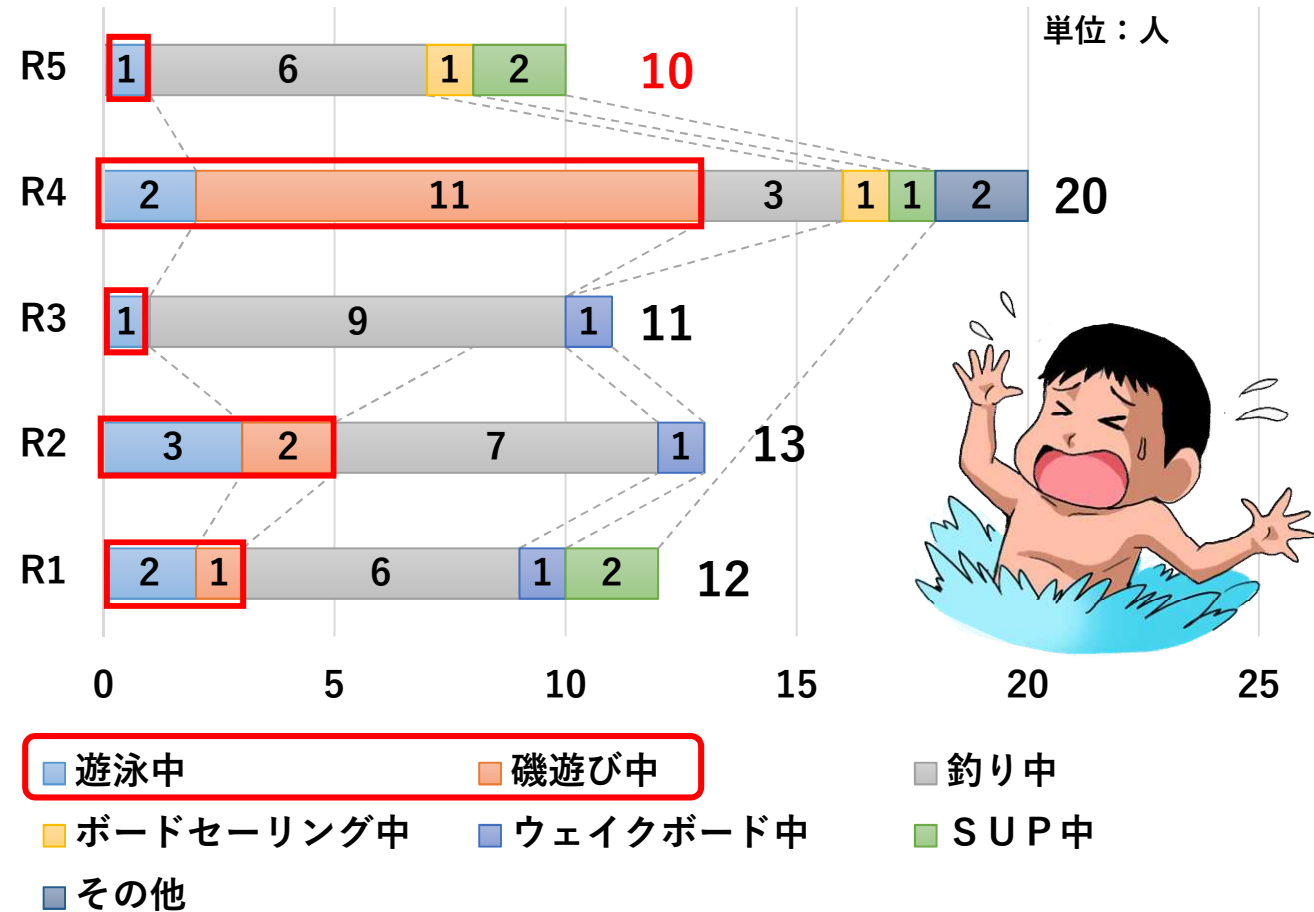


【事故内容別】



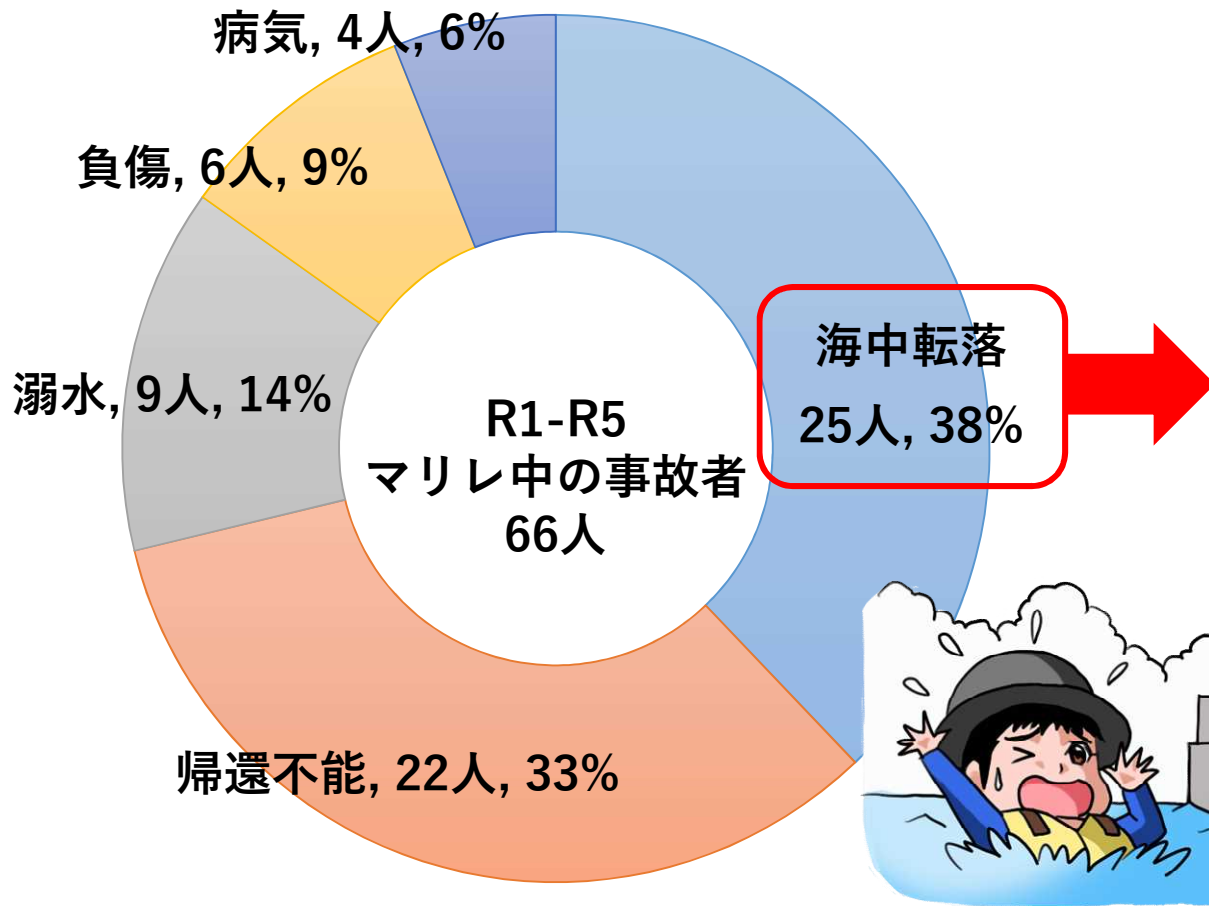
※ () 内は、死者行方不明者数

【活動内容別】 R1-R5マリレ中の事故発生状況

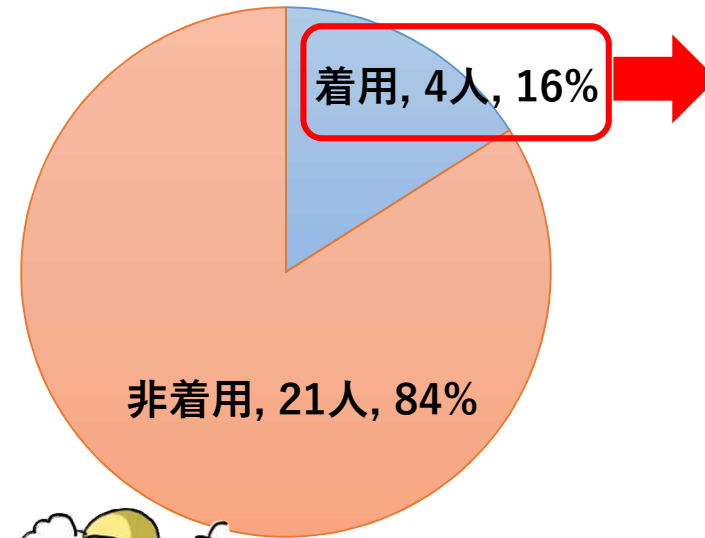


- 令和5年は釣り中の事故が全体の6割（6人）を占めた（前年比3人増加）
- 令和5年は遊泳中の事故と磯遊び中の事故の合計が1人と過去5年で最少（前年比12人減）

【事故内容別】 R1-R5マリレ中の事故発生状況



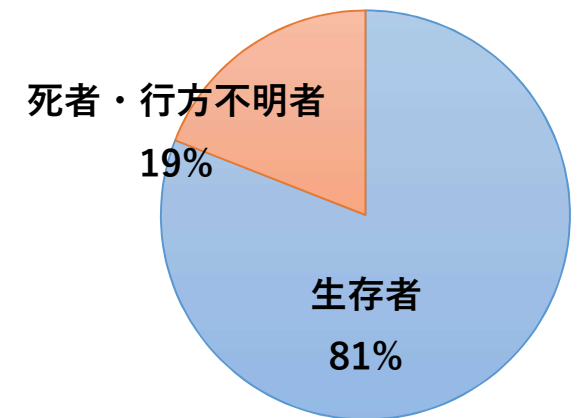
【救命胴衣の着用率】



【救命胴衣着用者の生存率】



【救命胴衣非着用者の生存率】



- マリレ中の事故に伴う海中転落者の救命胴衣の着用率は**2割未満**
- 救命胴衣を着用していた人の生存率は100%

